

取扱説明書

イヤークラスを装着する

ハイブリッドイヤークラス
トリプルコンフォートイヤークラス

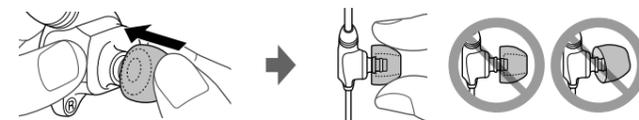
発泡シリコン

高さ 径

小さい	径		大きい
大きい	ML(青)	LL(紫)	
高さ	S(橙)	M(緑)	L(水色)
小さい	SS(赤)	MS(黄)	

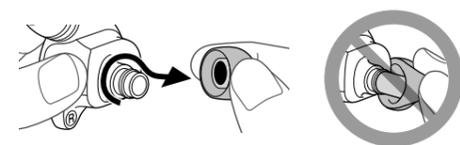
イヤークラスがはずれやすかったり、低域の不足や左右の音量差を感じる場合は、左右それぞれの耳にフィットするサイズに交換してください。

●イヤークラスのつけかた



イヤークラスがはずれて耳に残らないよう、しっかりつけてください。

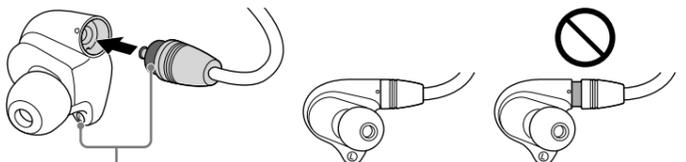
●イヤークラスのはずしかた



ケーブルを装着する

本機にはバランス接続ヘッドホンケーブルと通常のヘッドホンケーブルが付属しています。接続機器に合わせてどちらかのケーブルをご使用ください。

●ケーブルの取りつけかた

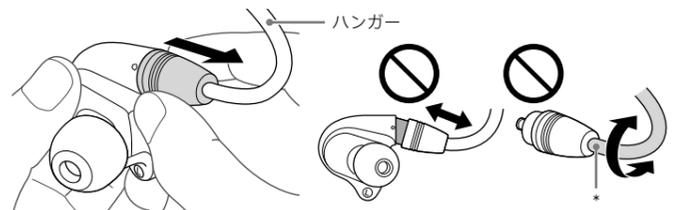


左Ⓛ: 白、グレー
右Ⓡ: 赤、赤

ご注意

ケーブルを取りつけるときは、ケーブルとヘッドホン左右にある表示部の色を確認してください。

●ケーブルのはずしかた

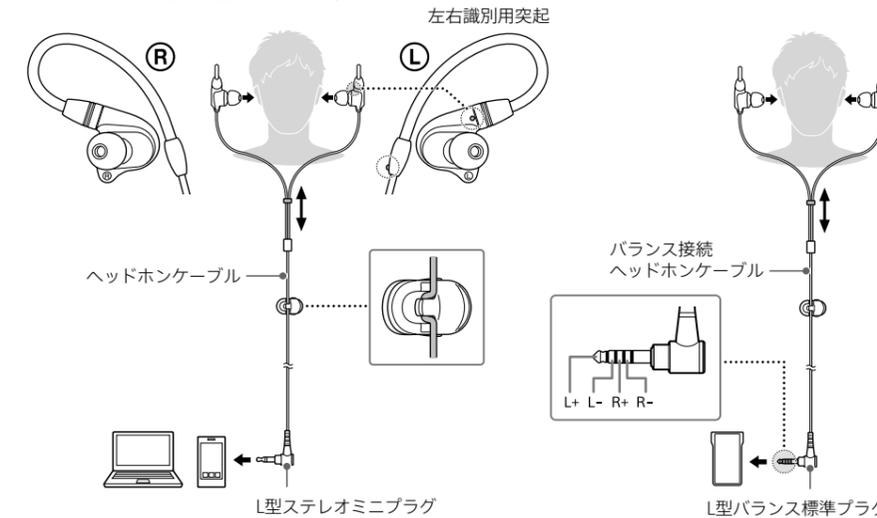


ご注意

- ハンガーを直接引っばると断線するおそれがあります。根元部分を持ってはずしてください。
- ハンガーの根元*を回さないでください。破損の原因となります。
- ケーブルをはずすとき、斜めに引っばらないでください。ケーブルがはずれにくくなります。

本機を装着する

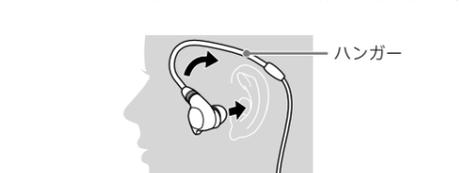
おさまりのいい位置に装着してください。



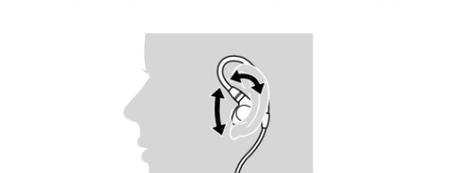
ご注意

- プラグ本体を持ってジャックに接続、またははずしてください。ケーブル部分を引っばると断線することがあります。
- プラグをジャックの奥までしっかり差し込んでください。プラグをしっかり差し込まないと、音が聞こえないことがあります。

1 ハンガーを耳の後ろにかけながら、本体を耳に装着する。

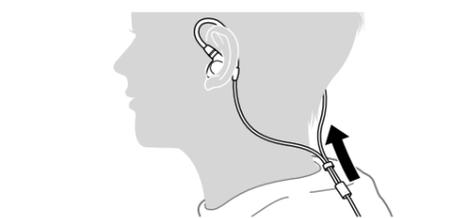


2 本体を上下左右に動かして、おさまりのいい位置に調節する。

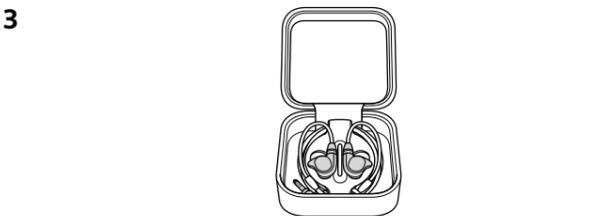
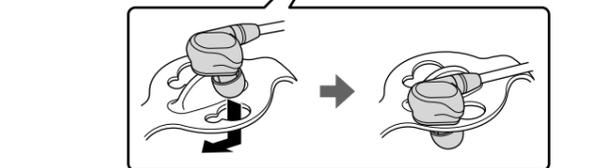
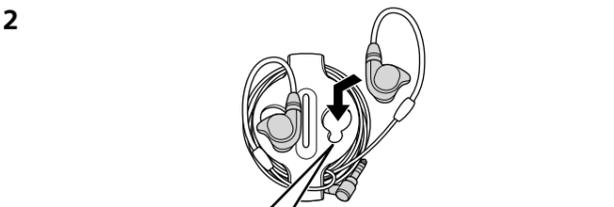
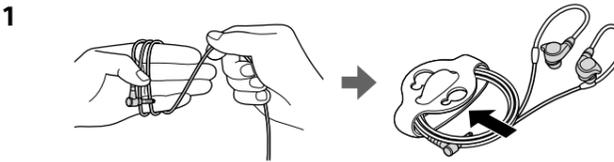


ヒント

より安定性を高める場合は、下図のように装着してください。



キャリングケースの使いかた



安全に関するお知らせ



警告

安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に修理を依頼する。



危険

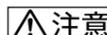
湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、火のそば・直射日光のあたるところ・車内など高温の場所で使用・保管・放置しない。



警告

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、本機は絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。運転中以外でも、踏み切りや横断歩道、駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。



注意

- 本製品は磁石を使用しているため、心臓ペースメーカーや除細動器、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器、および医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの機器を使用されていてご心配な方は、ご使用前に担当の医師にご相談ください。
- 本製品は磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気に変化して使えなくなることがあります。
- イヤークリップはしっかりと取り付けてください。イヤークリップがはずれて耳に残るとけがや病気の原因となることがあります。
- 小さな部品は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 本機が肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

使用上のご注意

装着に関するご注意

- 使用後は、ゆっくりと耳から取りはずしてください。
- 本機は密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合は、鼓膜などを痛める危険があります。
- また、本機を耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

トリプルコンフォートイヤークリップについて

- 本機には、より耳にフィットし、遮音性を向上させる目的で、トリプルコンフォートイヤークリップを付属しています。

ご注意

- 耳によりフィットするため、耳への負担が大きくなるおそれがあります。違和感のある場合には、使用を中止してください。
- 発泡シリコン部分だけを引っ張らないでください。イヤークリップから分離すると、機能しなくなります。
- 発泡シリコン部分に力を加えたまま長時間放置しないでください。変形して元に戻りにくくなるおそれがあります。
- 発泡シリコン部分の穴の大小は音質に影響ありません。
- 装着時、耳の中でプチ音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 発泡素材は、長期の使用・保存により劣化します。劣化すると本来の性能が機能しなくなりますので、交換してください。

その他のご注意

- 本機は精密機器のため落としたりぶつたりなどの強いショックを与えないでください。
- プラグは、乾いた柔らかい布でときどき拭いてください。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤークリップは長期の使用・保存により破損したり劣化する恐れがあります。
- イヤークリップが汚れたら本機からはずして、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は水気をよくふいてから取り付けてください。はずしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。
- 付属のヘッドホンケーブルと、IER-M7用ヘッドホンケーブル(別売)のみ本機で使用できます。

主な仕様

形式	密閉クワッド・バランスド・アーマチュア
ドライバーユニット	クワッド・バランスド・アーマチュア
最大入力	100 mW (IEC ¹⁾)
インピーダンス	24 Ω (1 kHzにて)
音圧感度	103 dB/mW
再生周波数帯域	5 Hz ~ 40,000 Hz (JEITA ²⁾)
質量	約9 g (ケーブル含まず)
同梱物	ステレオヘッドホン(1) バランス接続ヘッドホンケーブル(約1.2 m 銀コートOFC線、イヤークリップ、金メッキL型バランス標準プラグ、Y型) ⁽¹⁾ ヘッドホンケーブル(約1.2 m 銀コートOFC線、イヤークリップ、金メッキL型ステレオミニプラグ、Y型) ⁽¹⁾ キャリングケース(1) ハイブリッドイヤークリップ(SS、S、MS、M、ML、L、LL各2) トリプルコンフォートイヤークリップ(SS、S、MS、M、ML、L各2) クリップ(1) ⁽³⁾ クリーニングクロス(1) ケーブルホルダー (1) ⁽³⁾

- 1) IEC (国際電気標準会議)規格による測定値です。
- 2) JEITA規格による測定値です。
- 3) 購入後は固定用の台紙から取りはずしてご使用ください。

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- ウォークマン®、WALKMAN®, WALKMAN® ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

故障かな?と思ったら

ヘッドホンをご使用中に困ったときや、トラブルが発生したときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。ヘッドホンサポートのホームページで調べる。
<https://www.sony.jp/support/headphone/>



二次元コード読み取り機能をご利用ください。

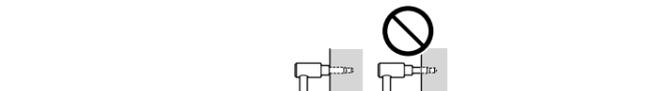
音が出ない・ノイズが出る・音が途切れるなど、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

それでも具合が悪いときは、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

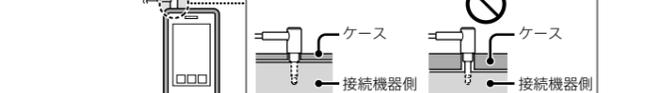
症状と対策

音が出ない

- プラグは奥まで入っていますか
- お使いの接続機器(ウォークマン®, スマートフォンなど)によっては、ヘッドホンジャックの噛み合いが硬いために、プラグが完全に挿入されないことがあります。プラグをジャックの奥までしっかり差し込んでください。

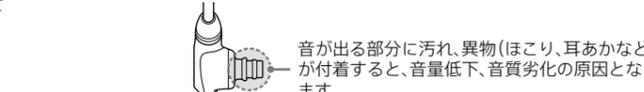


- お使いの接続機器(ウォークマン®, スマートフォンなど)のケースによっては、ケースの厚み等により、プラグが奥まで差らないことがあります。ケースをはずしてご使用ください。



再生機器の出力は出ていますか

- 音が出ていない場合、再生機器の音量がゼロになっていることがあります。再生機器の音量を上げてください。
- 音量が小さい場合、再生機器のメディアボリュームが小さく設定されていることがあります。ウォークマン®Android™搭載モデル/Androidスマートフォンにはマスターボリュームとメディアボリュームの2種類があります。マスターボリュームのみを大きくしても、メディアボリュームが小さく設定されていると、あまり音量が上がりにくいです。両方の音量を上げてください。詳しくはウォークマン®Android搭載モデル/Androidスマートフォンの取扱説明書を確認してください。
- 音量が小さい場合、ヘッドホンの音が出る部分に異物や汚れが付着していることがあります。耳あかなどの異物が付着すると音量が上がらなくなります。ブローで吹くなどして清掃してください。



イヤークリップをはずした状態

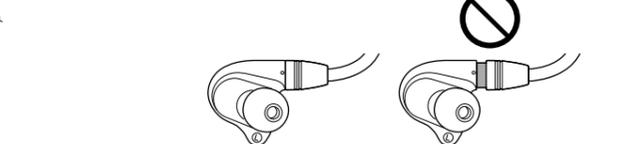
楊枝やペン先など尖ったものは使用しないでください。振動板や内部部品が破損するおそれがあります。

プラグが汚れていませんか

- プラグが汚れているために接触不良となっていることがあります。乾いた布でプラグの汚れを拭きとってください。

ケーブルは奥まで入っていますか

- ケーブルが完全に挿入されていない状態になることがあります。ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。



ノイズが聞こえる、音が途切れる

- ノイズが聞こえたり、音が途切れたりする場合は、再生しているコンテンツや再生機器に原因がある場合があります。再生機器の取扱説明書を確認してください。他のヘッドホンを接続して、再生機器からノイズが出ていないか確認してください。
- ケーブルと衣服がすれ違い音がケーブルを伝わって聞こえることがあります。クリップを使って、ケーブルと衣服のすれ違いを軽減してください。
- 接続先の機器によっては、音量を大きくすると音がひずんだり、割れたり、ノイズが発生したりします。その場合は、音量を小さくしてご使用ください。
- 接続機器の内蔵バッテリーや乾電池の容量が少なくなっていると音切れする場合があります。充電するか乾電池を交換してください。
- 耳に装着したときに振動板から“プチプチ”、“パチパチ”というような音が生じる場合があります。故障ではありません。そのままお使いください。

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じる場合があります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

低音が出ない

- イヤークリップが耳にフィットしていないと低音が不足していると感じることがあります。左右それぞれの耳にフィットするイヤークリップに交換してください。

左右で音量に差がある

- イヤークリップが耳にフィットしていないと左右で音量の差を感じる場合があります。左右それぞれの耳にフィットするイヤークリップに交換してください。

イヤークリップは消耗品です。イヤークリップが破損し交換する場合はソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談いただくか、別売りのEP-EX11シリーズ(SS、S、M、L、LLの各サイズ)、または、トリプルコンフォートイヤークリップEP-TC50シリーズ(S、M、Lの各サイズ)をお買い求めください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

保証期間中の修理は、保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

本機の補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

型名: IER-M7

お問い合わせ・ご相談について

ホームページで調べる
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間など
<https://www.sony.jp/support/>

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

- 使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577
- 修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に、「[309] + [#]」を押しください。直接、担当窓口へおつなぎします。FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1